

おきぎんふるさと振興基金

第 30 回(2020 年度)助成事業

「未来へつなぐ記憶の記録」

事業報告書

令和3年5月31日 八重山ライブラリー 水野暁子

【事業実施に至る経緯】

八重山ライブラリーは、八重山の文化を映像で後世に伝えるため、2018年6月にスタートした任意団体だ。メンバーは、竹富島在住の写真家 水野暁子、石垣島在住の映像ディレクター 広田麻子、神奈川県在住の映像ディレクター 浦郷庸子の3名。島人たちの貴重な昔話、暮らし、唄など八重山の知的財産をより多くの人に伝えるため、インターネット上のYouTubeでアーカイブ化する活動を行っている。

後世に残すためスタートした活動だったが、今、生きている方々に観ていただく機会が必要だと考え、記録された映像資料を地域の方々と共有するための活動にも一層力を入れていくことにした。

【活動計画案】

- 1) 各離島での撮影活動
- 2) 約50年前に八重山エリアで撮影されたドキュメンタリー映画の上映会
- 3) 「八重山ライブラリー」作品上映会

【活動概要】

新型コロナウイルス感染拡大や高齢者へのリスクを懸念し、予定していた離島での撮影や、映画上映会は、現在一時中断の状況となった。しかし、コロナ禍でも行える活動を模索し、島人やその関係者個人が撮影した動画をアーカイブ化していく活動を開始した。以下、実行予定していた案件の途中経過と島人提供動画の活動を報告する。

1) 各離島での撮影活動

八重山全域に撮影地を拡大予定だったが、離島への感染拡大の防止を考慮し、予定していた波照間島在住の親盛美智子さんへのインタビューは、現在一時中断の状況。西表島在住の染色家・石垣昭子さんの撮影は、9月17日に実施、現在編集中。八重山ライブラリーのメンバーの一人、石垣在住の広田麻子により、石垣島在住の大城初枝さんに星野集落開拓のインタビューを2020年10月に決行した。

星野集落開拓のお話 大城初枝さん 前後編 戦争体験談 大城初枝さん

撮影 2020年10月14日

編集 2020年10月20日～10月25日

youtube 公開日 2021年5月9日

開拓のお話 前後編

<https://www.youtube.com/watch?v=PZbgnUcjZTk&t=5s>

<https://www.youtube.com/watch?v=yAPh588dLtQ&t=729s>

戦争体験のお話

<https://youtu.be/NFZYohivUCI>



動画の内容詳細

石垣島の中部から北部にかけての地域は、戦後、沖縄本島や宮古島などからの移民によって開拓されてきた土地。人々は戦後の混乱の中で故郷を離れ、まだ誰のものでもない未開地を多く残していた石垣島に、希望を求めてやってきた。沖縄本島の大宜味村出身の大城初江さんは、1950年に家族と共に現在の星野集落へ移民としてやってこまし。前編では移住直後の話、後編は星野集落での暮らしについての話を伺った。

提供動画アーカイブ化による活動

1. 竹富島のわらべうた 上勢頭同子さんと竹富島の子どもたち

動画提供者 竹富島在住 上勢頭巧さん

youtube 公開日 2021年3月12日

リンク：<https://youtu.be/nlQuFwnOt0M>



竹富島在住の上勢頭巧さんより、竹富島のわらべ歌を子供達に歌う上勢頭同子さんを撮影した動画を提供いただき、アーカイブ化した。

披露した竹富島のわらべ歌

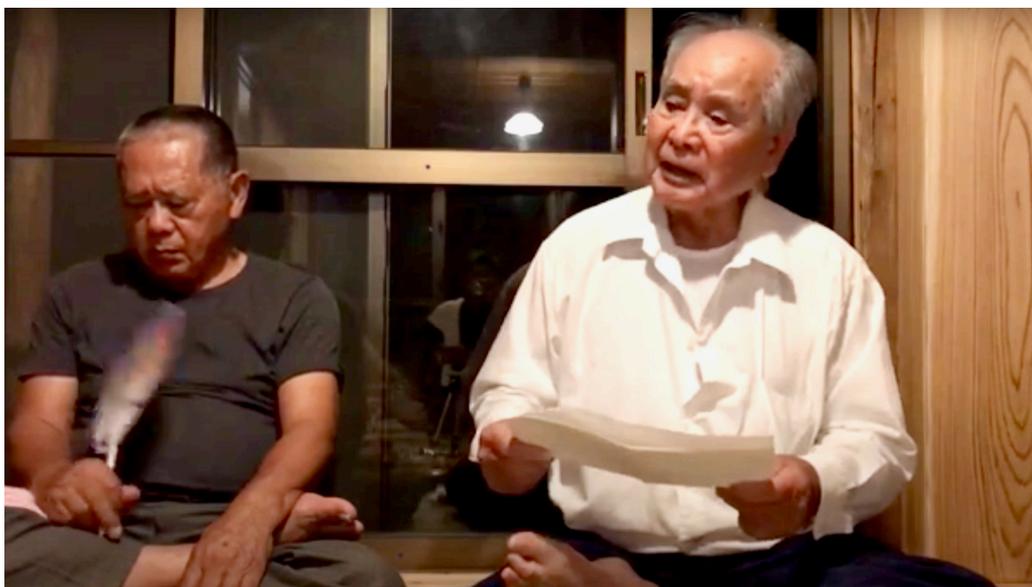
- ・ ふーゆべまー（指の数えうた）
- ・ しゅっかーなー（指の数えうた）
- ・ きーぬばんたにー（木登りをして叱られているうた）
- ・ ういやるーぬあぶじえー（ういやるーという畑でおじいさんが牛の皮を張って太鼓を作っているうた）
- ・ んぎゃーまー（赤ちゃんの鳴き声をうたったうた）
- ・ うしぬばんそれぞれ（足の数えうた）
- ・ がっこーやー（言葉あそび）
- ・ あみあみふあーふあー（雨のうた）
- ・ がっこーやー（言葉あそび）
- ・ ういやるーぬあぶじえー（ういやるーという畑でおじいさんが牛の皮を張って太鼓を作っているうた）
- ・ んぎゃーまー（赤ちゃんの鳴き声をうたったうた）
- ・ つきぬかいしゃ（夜のこもりうた）

2. 竹富島古謡「ニンガイヌサカキ」謡：前本隆一

動画提供者 竹富島在住 水野景敬さん

youtube 公開日 2021年3月17日

リンク：<https://youtu.be/Vo4UCwt4XTs>



竹富島在住の水野景敬さんより、竹富島の古謡、願いぬ盃（ニンガイヌサカキ）を歌う前本隆一さんを撮影した動画を提供していただき、アーカイブ化した。

原歌

1 仲筋ぬ（ナカシジぬ）御嶽（ウタキ） くま居（オー）りどう護（マム）
る 司中（シカサジュー）にていじりび みふどうしきよる ヨンナ 司中（シカ
サジュー）にていじりび 司中（シカサジュー）にていじりび みふどうしきよ
る ヨンナ

2 仲筋御嶽（サジヤマ）ぬ 御神（ミカミ）貴徳（キドウク）ありたぼり
氏子人中（ウガンビニンジュー）や みほどうしきよる ヨンナ 氏子人中
（ウガンビニンジュー）や 氏子人中（ウガンビニンジュー）や みほどうし
きよる ヨンナ

説

仲筋御嶽の御神は ここに居られてお護りなさる 神司中に手摺り部は 御
果報につきる 司中にていじりびは 司中に手摺り部は 御果報がつきなさる

2) 50年前に八重山エリアで撮影されたドキュメンタリー映画上映会

およそ50年前に八重山で撮影されたドキュメンタリー作品の中からいくつかを選抜し、まずは石垣島ゆいロードシアターでの上映、加えて、それぞれの作品の地元で上映会を計画した。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、開催を延期することを決定した。コロナ禍の状況でできる準備を進めることにした。

2020年 10月

50年前に鳩間島で撮影されたドキュメンタリー映画を試写し、上映候補映像を選抜。鳩間島の映画を上映することを決定。

- a) Waiting for the Water 「水を待ちながら」 (26分)
1976年に撮影された鳩間島の映像
- b) There's Nothing That Doesn't Take Time 「すぐにできるものは何にもない」 (8分) 網かご作りの一部始終を撮影しながらインタビューした映像

2020年 11月6日

ゆいシネマを守る会主催の波照間島の食堂「あやふふあみ」で行われた、上映会に参加。会場、告知作業、機材、コロナ禍での上映方法など視察した。以下、ゆいシネマを守る会主催上映会の視察報告

会場：波照間島の食堂「あやふふあみ」。

セッティング：飲食店なので、椅子やテーブルは元々あったものを移動して利用。スクリーンの設営、プロジェクターの調整、飾り付けと備品の整理。セッティングの所要時間は4名により1時間半。昼間上映に関しては、暗幕が必要なため、目張り作業が加わる。

事前の告知作業：ゆいシネマのFB、HPで告知。チラシの配布。口コミで行われていた。

機材：スクリーンは波照間小学校より借用。音声機材（スピーカーとミキサー）は店舗より借用。プロジェクターは、ゆいシネマ所有の2000ルーメンという明るさの4K対応機種。

コロナ禍での上映：座席は三密を避けるよう、席と席の間を広く取ったため、15席ほどのセッティングだった。



プロジェクターとモニター機材



上映会の様子

まとめ：今回は主に機材事情や現場の流れを確認し、離島での上映会をするという現地の反応を観察することができた。鳩間島映画上映会に向けて、必要なことをメンバーで話あう機会となった。

2021年5月現在

現在、鳩間島公民館長および関係者と話を進め、新型コロナウイルス感染症関連の状況が落ち着き次第、鳩間島島内での上映会を実施する予定となっている。
また、上映会を開催する際に鑑賞する島民の様子、また、感想をインタビュー収録するなどして、このような過去の映像がもたらす感動や意義について検証し、今後へつながる取り組みになるよう、来賓招聘含め、内容についても検討を重ねている。

3)「八重山ライブラリー」作品上映会

2019年に「第1回石垣島湘南国際ドキュメンタリー映画祭」にて大賞および観客賞を受賞した作品をはじめ、2020年に新たに収録できた資料をまとめた映像を、石垣島ゆいロードシアター及び、映像に映っている方がお住いの地域などで上映する機会計画したが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、開催を延期した。希望者にDVDの貸し出しや配布を開始した。

ゆいロードシアターはコロナ禍により、閉館。現在、「ゆいシネマを守る会」が発足し、代表の竹内さんが、月1回上映会を開催している。その上映会で、今後、八重山ライブラリー映画の上映会を打診中。



ゆいシネマを守る会共同代表：竹内真弓氏（左）、宮良真奈美氏（右）

【成果と今後】

当初計画していた、島人たちに映像を見ていただく機会を増やす為のイベント開催は、新型コロナウイルスの影響により延期を余儀なくされた。しかし、島人が撮影した動画をアーカイブするという新しい活動を開始することができた。また、この期間を準備期間とし、離島上映会の視察をすることができた。

石垣島在住の大城初枝さんさんのインタビューを撮影したことで、命をかけて集落を開拓した人々の思いを学ぶことができた。島の変化が著しい今だからこそ、この開拓者の声を残すこと、届けることに意味があると感じている。今後、開拓者のインタビューのシリーズ化していきたいと考えている。

初年度、YouTube の合計再生回数 286 回だったが、現在の再生回数は 3782 回を超え、登録者も、120 人となった（2021 年 5 月末）。少しずつではあるが、島人が参加して行くことにより、着実に私たちの撮影した映像が島人達に伝わっていると実感している。

2020 年 7 月に、松竹美智子さんのインタビューの様子を八重山毎日新聞でコラム記載された。同年 12 月、この新聞記事を読んだ竹富中学生の生徒さんが、感想文を書いた。それが琉球新報社主催の「第 10 回新聞感想文コンクール」において、県知事賞を受賞した。未来を担う子供達に、島の貴重な歴史や島人の声を受け止めてくれたことで、活動の意義を感じることができた。



八重山毎日新聞でのコラム

「第 10 回新聞感想文コンクール」記事

映画上映会の開催時期は、今まだ未定だが、開催に向け、鳩間島の方々との関係性は深まっており、会場の選出など、未来の開催に向けて着実に進行している。またコロナ禍だからこそ、提供動画のアーカイブ化の必要性も強く感じる事ができた。島人協力のもとで制作した映像を公開することで、島人と共に作る八重山ライブラリーとして進めていきたいと考えている。